

議長（門 瀧雄）

これをもって、8 番古川議員の質問を終わります。

続きまして 3 番、金井浩三君。

議員（金井 浩三）

3 番 金井浩三、一般質問 2 点ほど質問させていただきます。

まず第 1 点、水関連事業につきまして昨年度に引き続き、もう 1 度質問させていただきます。

せせらぎと安らぎそして水めぐる町多度津町を目指して、平成 16 年 5 月に下水道高度処理水事業が総事業費 35 億円をかけて完成しました。そしてこの完成によって多度津町は幾多の賞をいただきました。

平成 17 年 9 月には第 14 回の「いきいき下水道賞」ということで国土交通大臣賞、平成 18 年 11 月には、同じく国土交通省の「手作り郷土賞」を受賞されました。

また、平成 22 年には第 12 回の日本水大賞国土交通大臣賞を「水めぐるまち次世代の未来を築く水循環プロジェクト」ということで受けております。多くの賞、そして部外からたくさんの方々が視察にこられて、多度津町は全国的に、いや、世界的に多度津町の名前が有名になったことと存じ上げます。

その反面、多度津町の財政も大変厳しくなったのも事実ではないでしょうか。2013 年 2 月発行の下水道協会誌の特別対談の中でも、小国宏前町長がお話しされておられます。これを作った当時と違うのは、国の財政がいよいよ厳しくなってきたこと、それによって多度津町への国からの交付税が毎年減額されています。それによって、多度津町の財政も過去のさまざま投資によって、なお一層厳しくなったと思います。

そして次に言ったのが、第一に良い事業であるけれども、これが有効活用できているかどうかを常に考えること、第二は財政負担をどう解決していくかという点ですと言っておられます。そして今、この水利用の中で困ったことは、我が国の農業が着実に衰退していること。

私が多度津町においても、このプロジェクトが完成してから、約 10 年間を振り返ってみましても、減反政策が進んで休耕田が増えています。農家の方々には心配しなくても今、水はいくらでも使おうと思えばあるんです。水稻の耕作面積が減少していっており、水の需要が少なくなっているから再生水を利用するまでもありません。

また、別の意味で困った事もでています。ずっと水を流していても冬でもアオコが発生して困っていますし、子供達が水遊びをしても、家に帰ってから、シャワーを浴びなければ気持ち悪いと言っています。

この再生水の事業を、今後どのようにしていこうと考えているのでしょうか。

そして毎年毎年維持管理費、約 3,400 万円を今後もずっと払い続けていくでしょうか。

子育て支援や公共施設の耐震化などに活用した方が、町民は喜ぶのではないのでしょうか。ご答弁宜しくをお願いします。

第 2 点目地籍調査について、地籍調査とは、主に市町村が主体になって一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査です。

そして土地取引、また、まちづくり計画をするときに役立ちます。そして費用は国が 2 分の 1、残りの 2 分の 1 は県と町が半分ずつ、さらに町が負担する経費の 80% が特別交付税措置の対象となっていることから、実質的には 5% の負担で実施することが出来ています。

私が思うことは、地籍調査を出来るだけ早くすることが多度津町にも大変メリットがあるのではないかと思います。

まず第一に地目変更が行われていないことが発見できること、昔は確認申請がうるさくなかったために、田や畑の上に住宅を建てている家があると思います。そして、実測するために、はっきりとした面積がわかるので、固定資産税に反映され、税収が UP するのではないかと思います。

そこでお伺いします。

平成 23 年度末で香川県で全体の 81% が地籍調査済となっております。多度津町は何年計画で地籍調査をするつもりですか。又、専門の部屋を作り調査を早くする考えはないのですか。先日、地元の方から三井地区はいつごろになるのかと聞かれたため、建設課の担当の人に聞くと三井が 10 年先、白方は 50 年先と言っていますが、何と気の遠い話ですか。

ご答弁宜しくをお願いします。

議長（門 瀧雄）

ここで、ちょっとお諮りいたします。

答弁をいただきますと、12 時をだいぶ過ぎますので、答弁は 1 時からとしたいのですが、構わないですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（門 瀧雄）

はい、そういう事で 1 時から再開させていただきます。

休憩 11 時 50 分

再開 13 時 00 分

議長（門 瀧雄）

それでは、午前に引き続きまして再開いたします。

答弁を、町長お願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

金井浩三議員の、水環境創造事業についてお答えしてまいります。

水環境創造事業とは渇水対策であり、下水の処理水を高度処理して再利用する計画です。一旦葛原の中池に注入し、千代池ほか 10 か所のため池と、2 か所の放流口に配水し、農業用水として利用すると同時に、河川の浄化と水道の原水となる地下水に涵養することにより豊富な水量を貯えることが出来ます。加えてホタルの里、親水公園、せせらぎ水路などの環境を整備することです。この事業には、議員ご指摘のように多額の経費がかかりました。

私ども行政は町民皆様の税金を預かり、町民皆様の幸福の向上と町の発展を一義的に考え、住民サービスの向上に努めることが責務であり、そのためには、財政規律を守り、費用対効果を常に考え、財政の健全化に努めていく事が重要課題だと考えています。

これらの施設は現在、維持、管理も多額の経費がかかっておりますので、出来るだけ節減に努めますと共に、有効に利用したいと考えています。

「ホタルの里」では本年ホタルが約 10 匹飛んでおりました。パンフレットに掲げているような乱舞するまでには、まだまだ及びませんが、去年は 5 匹だったので、来年からも何とかホタルの乱舞する姿を見たいという夢の実現に向けて、「多度津ホタルの会」の方々や、水利組合と地元の方々のご協力を得ながら担当課ともども努力してまいります。

また、当初から臭いという評判の中池に関しても、多度津高校と連携しながら、浄化に向けて現在実験を行っているところです。これらの施設を出来るだけ町民皆様の憩いの場所として再生するよう努力してまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

その他のご質問につきましては、各担当課長より答弁してまいります。

上下水道課長（河田 数明）

金井議員のご質問の内、水関連事業について、町長の答弁と重複するところもございますが、答弁をさせていただきます。

議員におかれましては、何かと上下水道事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、議員の記憶にも新しい事と存じますが、平成 6 年に起こりました、全国的な大干ばつは、戦後最悪の水不足を香川県民にもたらしました。

同年 6 月 29 日に始まった香川用水の取水制限は、11 月 14 日の終息までに 9 回にもおよび、実に 139 日を記録いたしました。

香川県の平年降水量は、1 千 49 ミリに対し、平成 6 年は 724 ミリの降水量し

かありませんでした。

それ以降も度々渇水に見舞われ、水不足に頭を悩ませてきたところでございます。

当町では、この様な苦い経験を踏まえ、常に安定的に受水可能な下水道放流水を再処理し、河川維持用水、農業用水、修景用水等に再利用することに至り、議員のみなさまのご理解を得て、当事業を平成 16 年 5 月より供用開始いたしました。

供用開始後、約 10 年が経過し減反政策が進み休耕田が増え、水稻の耕作面積が減少し、再生水を利用するまでもないのではないかとのご指摘であります。今年 5 月の香川県内の降水量は、高松で 11 ミリで過去最低であり、多度津におきましても、20.5 ミリと同月の観測史上、過去 3 番目に少ない少雨となっており、記録的な渇水が心配されるところでございます。

一旦渇水となりますと当然、早明浦ダムや、まんのう池からの放流も制限され、河川の最下流部にある本町では、上流からの流入は期待できないことから、当該事業は水の確保という観点から、渇水に対する安全度の向上に寄与するものと考えおります。

また、農業用水として再生水を利用した実績といたしまして、千代池に受け入れられた水量は、平成 20 年度が過去最大で、年間 16 万 7,578 トンで、平成 18 年度から 24 年度の平均は年間 10 万 6,664 トンとなっております。

6 月から 9 月の間、千代池から 10 か所の池と、2 か所の放流口に送水されておりますことから、農業用水に活用されていると考えております。

また、アオコの発生につきましては、水中の窒素、リンなどによる、富栄養化が原因と考えられますが、毎月定期的に水質検査を実施しており、現在、窒素、リンなどの栄養成分が、基準水質を超える数値を検出してはおりませんので、ご報告をさせていただきます。

続きまして、子供たちが水浴びをした後、シャワーを浴びなければ気持ちが悪いということにつきましては、再生水は水浴びをすることを前提としての処理は行っていないことから、そのような行為を行わないよう、利用者に注意喚起を看板等で行うことを考えてまいります。

今後も、議員のご意見を踏まえながら、関係機関及び関係各課、並びに関係者と調整を行い、必要な時期に必要な水量を送水し、効率の良い運転及び維持管理、並びに水質管理に努めるとともに、無駄のない運転を行い経費節減に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

建設課長（島田 和博）

失礼致します。金井議員のご質問の 2 点目、地籍調査についてお答えいた

します。

まずその前に、当事業にご理解、またご協力、ご支援いただいておりますことに御礼を申し上げます。

議員ご質問の第1点目のメリット部分ですが、平成22年の総務建設産業連合審査会の中で地籍調査の効果という点で、住民相互の土地境界をめぐるトラブルの未然防止、登記手続きの簡素化、費用削減、また土地の有効活用の促進、公共事業のコスト削減、災害復旧の迅速化、課税の適正化、公平化、また測量成果GPSの利活用など住民、町相互のメリットが示されております。なお、当事業に関しても当連合審査会で多くのご議論いただき、当面第6次国土調査10ヵ年計画の中で調査面積11平方キロメートルということで事業着手いたし、今年度で4年目を迎えております。

昨年までの3ヵ年で実施地区としては臨海埋立部、南鴨地区となっておりまして、1地区3年の一巡行程、1年目は準備、地元説明会、1筆調査、2年目では地籍簿作成、公告縦覧、修正、3年目においては認証、承認申請、登記所送付ということで、毎年新しい地区を小字単位を1年毎追加いたしながら現在実施しております。

当初の国へ計画の中では、平成22年度から開始、平成48年度を完了予定年度とした、計26年間約四半世紀にわたるわけですが、この長期の計画をいたしておりました。その中の体制として、3班及び4班体制での実施計画でございました。

現時点での調査班体制は、1班体制で最善を尽くしてはおりますが、この進捗度では、議員ご質問のとおり、経過年数が必要やもしれません。しかしながら、この班を増やしたとしても、土地境界のあり方、基本となる考え方を理解し、伝承していく職員の育成期間と併用した年数が、かなりが必要不可欠であると考えております。

今後町と致して、概ね第6次国土調査までの10ヵ年を一区切りとし、次期作業工程の課題等協議検討をし、現行の地籍業務の位置づけ、根本的な体制づくりも勘案しながら、議員の皆様にお計りし推進して参りたいと考えます。

ご理解を賜りますようお願い申し上げます、答弁といたします。

議長（門 瀧雄）

以上で、金井議員の一般質問に対する答弁は、町長、各担当課長からありましたが、金井議員、再質問がありましたらお受けいたします。

議員（金井 浩三）

水関連事業につきまして、10年が経っております。渇水の時のために、いざという時に使う、それはよくわかります。すいません、そこで質問ですが、この10年間で、何回それが利用されたのでしょうか。

そして、もうあと 1 点、毎年維持管理 3,400 万円が大体要っております。これは、大まかに極端に言えば、人件費はいくら、部品設備費はいくらが解ればご答弁よろしくをお願いします。

町長（丸尾 幸雄）

金井浩三議員の再質問に、お答えしてまいります。

この水関連創造事業というのは、渇水対策であります。これは、渇水になった時に水が無くなると非常に困ります。水は生活インフラの一番大事なものです。農業もそうですけれどもね。そういう中で、今この 10 年間で何回使ったかという事ではなくて、これはいつでも使えるようになってます。下水の処理水を上げる量を多くすることによって、地下に涵養したり、また農業用水が増えていくわけですから、その時々その年の気候によって、水の不足具合によって、それは水の流す量を加減をしております。そういうふうな必ず、もし何かの時の備えであります。讃岐の国はご存じのように、度々水不足に悩まされております。多度津町はそういう事のないように、水環境創造事業を整備したわけであります。ご理解いただけますように、願申し上げます。

上下水道課長（河田 数明）

金井議員の再質問の答弁といたしまして、まず、10 年間の内いくら何年間水を送ったかという事ですが、その事に関しまして、私どもが水を送っているのは、千代池にお送りしておりますが、そちらへ水を送った今までの経緯と致しましては、毎年送ってはおります。それですので、そこから先ほどご説明したように、10 個の池と 2 つの放流口に送水しておる事から、毎年利用されていると考えております。

また、維持費の内 3,400 万の内、何にいくら使われているかという点でございますが、最近の資料では 23 年度の数値でお答えさせていただこうと思います。維持管理費と致しましては、23 年度 3,170 万円程でございます。その内メンテナンス委託料が 1,150 万、電気代といたしまして約 990 万、あと大きいものといたしまして修繕費として 900 万、あと残りに関しましては電話代、薬品代、その他の費用となっております。以上、すいませんが近年 23 年度の修繕費の金額を報告させていただきます。

議長（門 瀧雄）

金井議員、よろしいですか。

議員（金井 浩三）

ご答弁ありがとうございました。また、よく勉強して次再質問させていただきます。よろしく願いいたします。